

あなたが残したいと思う  
一冊はなんですか？  
渡邊 格

皆さんは図書館にどのようなイメージをお持ちですか。学生にとっては勉強や情報収集をする場所でもあり、AVルームといった書籍以外のメディアも活用できる場所になっています。また、最近では児童文学を取り揃えた図書館もでき、親子の憩いの場となっています。今や図書館は市民に身近な場所として世界中に存在します。しかし、図書館の歴史を紐解いていくと面白いことがわかります。皆さんが持っておられる図書館のイメージが変わるかもしれません。

世界最古と言われている図書館は、紀元前7世紀にアッシリア王アッシュールバニパルによって建てられたニネヴェ図書館です。ただ、この当時は書籍ではなく粘土板文書によって保管されていたので、現代の私たちが想像する図書館とは趣を異にしています。さて、この王様は大変教養が高く、文書収集家としても知られていたようでした。この図書館には、医学や言語などの学術書だけではなく、一般人の手紙の内容まで保管されていました。さらに、部下に収集をさせる時の命令書までが残されていたところなど、この王様は文書収集に強い意欲を持っていたことが窺えます。ニネヴェ図書館の粘土板文書は、古代世界の人々の生活を現在の私たちに伝える貴重な遺産といえます。これらの遺産によって、庶民の歴史も明らかになり、当時の日常の姿を映し出しています。

紀元前3世紀頃に建てられたアレクサンドリア図書館は、エジプトのアレクサンドリアにあった古代世界では最大の図書館です。パピルスという植物から作られた文書を多数保管し、薬草園も併設していたと言われていました。現在で言う博物館、公文書館、植物園といった機能も併せ持った施設だったようです。しかし、火災や略奪により全てが失われてしまいました。こ

の図書館の近くを通る旅人の文書を没収し、原本を保管して写本を返還するという徹底した収集活動を行っていたようなので、失われたことは悔やまれてなりません。現在は同じ場所に新アレクサンドリア図書館が建設され、地中海に関する多くの情報が収められています。

さて、このように図書館とは元々、幅広い知識を結集し保管する場所でした。但し、長期に亘り図書館の利用は貴族や学者のみで、利用料も支払わなければなりません。また、本一冊で家一軒が建つという時代が長かったため、本が鎖で繋がれていたという話も残っています。グーテンベルグの活版印刷術が普及したおかげで本が安価となり、庶民に親しまれるようになってからも図書館は本来の機能を失っていません。ニネヴェ図書館を造ったアッシュールバニパル王のように、後世に「今」を伝えるために図書館では受け継いだ資料を整理し、修理もしています。そして、現在も未来への遺産を守り続けているのです。

本学図書館でも多くの本が修理されています。そうすることで何十年先、何百年先まで受け継がれます。また、様々な貴重書も保管されており、例えばシェークスピアが生きていた当時の本も綺麗に保存され、当時の人々の生活を伝えてくれます。今ではこのような貴重書もマイクロフィルムという形で、半永久的な保存が可能となりました。粘土板の時代から受け継がれた智慧を、後世に受け継ぐ手段はこれからも益々増えることでしょう。

今まで図書館を何気なく利用されていた方も、図書館に対するイメージが変わったのではないのでしょうか。勉強の場や憩いの場として利用され、もっと多くの本に触れてみては如何でしょうか。その中であなたが後世に残したいと思える本に、きっと出会えることが出来ると思います。そういう本を探すだけでも図書館は魅力的な場所なのではないでしょうか。

わたなべ いたる (2007年度英米語学科卒業生)